

平成28年12月8日

川崎市長 福田紀彦 様

川崎市公共事業評価審査委員会
会 長 佐土原 聡

平成28年度第1回川崎市公共事業評価審査委員会の審議結果について

川崎市公共事業評価審査委員会運営要綱第3条第1項の規定に基づき、社会資本総合整備計画の事後評価の内容について、本委員会において審議を行いました。

その結果を次のとおり意見を添えて具申します。

1 審議実施事案

- (1) 「川崎市公共下水道」
- (2) 「川崎市公共下水道（防災・安全）」
- (3) 「南武線駅アクセス向上等整備事業」

2 審議結果

評価結果及び事業をめぐる社会経済状況等を勘案し、1（1）から（3）までの3計画の事後評価の内容については、透明性、客観性及び公正さが確保されており妥当であると判断しました。

また、審議にあたり委員より出された意見を別紙のとおりまとめ、付記します。

付 帯 意 見

(1)(2) 「川崎市公共下水道」及び「川崎市公共下水道(防災・安全)」

計画の推進に当たっては、集中豪雨や大地震の発生リスクを考慮し、より重点化して事業を推進していくことが望まれる。なお、今後、管きよの老朽化が急速に進む等々力処理区など、長期間にわたって整備が行われるエリアについては、地震発生時に市民の避難の妨げとならないよう、緊急輸送道路などの道路の機能にも配慮して事業を推進していくことが望まれる。

また、下水道事業に対する市民意識調査の実施に際しては、整備効果や地域ごとの課題を的確に把握するため、特定の地区に絞ったアンケートの実施や、地域ごとの分析ができるよう設問を工夫するなど、より効果的な市民意識調査の手法を検討していくことが望まれる。

(3) 「南武線駅アクセス向上等整備事業」

計画の推進に当たっては、現状として踏切横断の安全性に課題があることから、用地交渉の手法や施工計画をより一層工夫することで、早期の供用開始に向けて、事業を推進していくことが望まれる。

また、供用開始までに時間を要することから、並行して稲田堤駅及び津田山駅前の踏切の安全確保に向けた対策を十分検討するとともに、今後整備を予定している武蔵溝ノ口駅以北の3駅についても、現状の安全性を確認した上で、早期の課題解決に向けた対応策を検討していくことが望まれる。